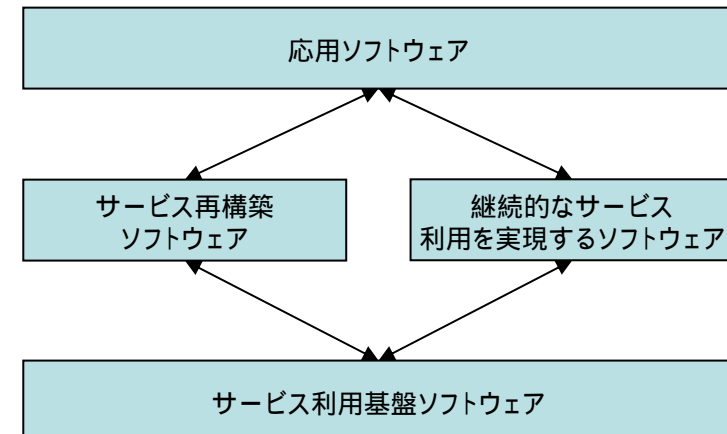
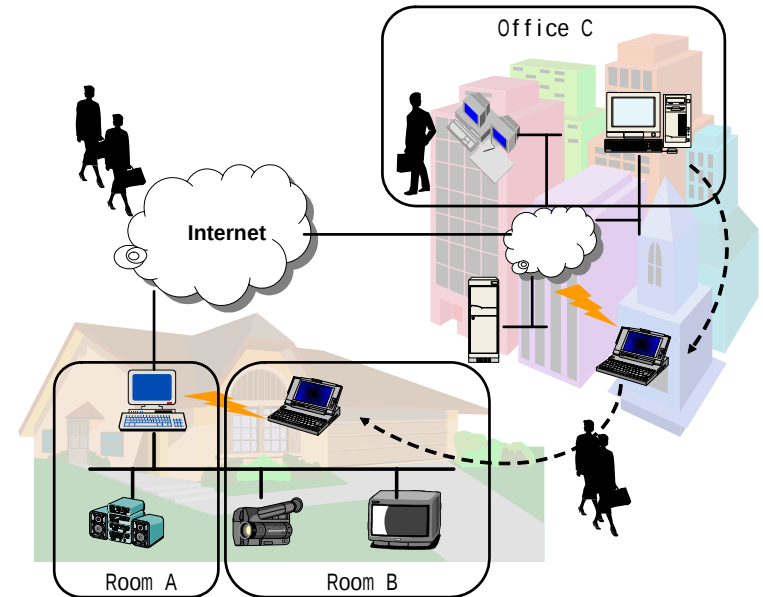


# Mobiquitous Environment: 適応型次世代ユビキタス基盤環境の構築

慶應義塾大学 永田 智大 村瀬 正名 権藤 俊一 鈴木 源太 守分 滋

- 次世代ユビキタス環境の基盤技術開発
- サービスの利用可能状況の変化に適応できるように支援する
  - 利用者の移動に応じて
    - 変化する利用可能なサービスを管理
    - アプリケーションの一部が移動
    - サービス利用の状態を継続的に実行
- 3つのソフトウェアから構成
  - サービス利用基盤ソフトウェア [適応的サービス利用管理機構]
    - サービス利用状況の変化への適応支援
  - サービス再構築ソフトウェア [機器間協調動作フレームワーク]
    - サービス利用の効率化・最適化
  - 継続的なサービス利用を実現するソフトウェア [適応型タスク適応機構]
    - 継続的な利用者要求実行支援
- 応用ソフトウェアを作成し、実際のユビキタス空間で実際に動作させ、実証実験を行う

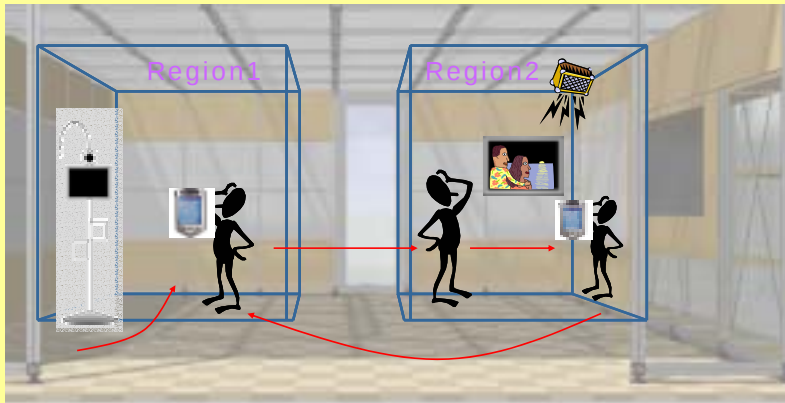


# Mobiquitous Environment: 応用アプリケーション

## Smart Space Lab (SSLab) における実証実験

### サービスローミング技術を用いたTV電話システム

- 利用者は移動しながら周辺に存在するサービスプロバイダを適宜利用
- 同じ相手と映像と音声を利用した会話が可能に



### 音声と位置情報を利用したライト制御システム

- 発言内容と音声の大きさ, 高低を利用
- 位置情報を付加
- SSLab内にある電源のon/off および明るさの調節が可能



### 利用者の位置に応じた動的ポスターシステム

- 公共の場(以後, パブリックスペースと呼ぶ)におけるサービスプロバイダのビジネスモデル
- 利用者がサービスプロバイダに近づくと, 自動的に広告のためのポスターが表示
- 利用者がサービスプロバイダを利用し, 離れた場合, ポスター表示を終了

